



岐阜市立岩野田北小学校 学校だより

せんだんの木



令和7年10月1日 校長 各務 至

自分たちで考え決めて行動する—6年生修学旅行—

9月25日(木)、26日(金)に、6年生が修学旅行に行ってきました。これは、学年の取組ではありますが、6年間の成長を発揮する行事の一つでもあります。そういったことから、今年度は、自分たちで考え決めて行動できるよう、行程を見直しました。その一つとして、2日目の研修では、子供たち自身で立てたプランで明日香村の史跡を巡ることにしました。それにより、次のような子供の姿を見ることができました。



- ・ 仏像や建築物を食い入るように見つめていました。
- ・ お寺さんの話に対して、自ら正座をして耳を傾けていました。
- ・ 山門をくぐる際、敷居をまたぐ作法を大切にしていました。
- ・ 参拝の前後には一礼をしていました。
- ・ 仲間を気遣いつつ、安全に気を付けて自転車で移動しました。



こういった子供たちの姿からは、自ら学ぼうとする意志が感じられました。通常の歴史の学習に加え、仏像や建築の学習などを事前に行ったことで、子供たちに見る目と知識が備わっていました。このように、教室での学習と社会とをつなげていくことで、子供たちの目が開かれていくのだと思います。

気を付けて歩道橋を渡ってください

右の写真のとおり、階段のへりの金具が外れています。見守り隊の方が気づき、すぐに応急処置をしてくださいました。ありがとうございます。現在、県の担当課に修理を依頼中です。



全国学力学習状況調査（6年生）から見たこと 2

今回は、生活や家庭に関わる中から、自己肯定感に関する状況についての結果と分析です。ご家庭のお子さんには当てはまらないこともあるかもしれませんが、お子さんが該当の学年ではないかもしれませんが、子供の成長を考えるきっかけにいただけたら幸いです。

- ・自分には、よいところがあると思っている子供の割合は高めです。学校としては、全体的な数値よりも、個別の状況に目を向けて支援していきます。
- ・将来の夢や目標を持っている子供の割合は低めです。今の時点で持てていないことは問題ではありませんし、無理に持たせるものでもありません。学校では、子供たちがこのことについて考える場面を、タイミングを考えて設定していきます。
- ・人が困っているときは、進んで助けている子供の割合は高くありません。心ある子供は多いので、行動となって踏み出す一歩を持てるよう支援していきたいと思います。
- ・ほとんどの子供がいじめは、どんな理由があってもいけないことだと考えています。学校としては、全員がそのように考えられることを目指していきます。
- ・人の役に立つ人間になりたいと思っている子供の割合はやや高めです。そう思うことができるよう、自分に自信を持つことができるように働きかけていきます。
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思っている子供の割合は低めです。地域の方々から多くの支援を受けて運営している学校としても、多くの子供がそのように思えるよう心情を耕していきたいと思います。

子供の成長を見守っていく上で、こういった観点があることを認識していただくことも、とても意義のあることと考えています。割合的に高い低いという表現を用い、回答率を示していませんこと、どうかご容赦ください。